

授業概要

社会調査での一般的な手順として、調査設計（先行研究の収集）、仮説と目的の設定（先行研究分析）、標本抽出（サンプリング）、調査票の作成、調査の実施、データ入力、単純集計、分析（クロス集計を含む）、報告書の作成の順に講義を進めていく。この際、社会調査の企画・設定、およびデータの集計・分析を全員が体験し、報告書の作成にまとめるスキルを培う。本年度は、青年の行動心理について調査を実施する。

授業計画

第1回	初回オリエンテーション（社会調査・調査の企画）
第2回	先行研究の収集、文献の収集
第3回	先行研究の分析
第4回	調査票の作成(1)（仮説設定及びワーディング）
第5回	調査票の作成(2)
第6回	調査票の作成(3)
第7回	調査の実施(1)（配布と回収）
第8回	調査の実施(2)（配布と回収）
第9回	データ入力（エディティングを含む）
第10回	スクリーニングとデータ解析(1)
第11回	データ解析(2)
第12回	データ解析(3)
第13回	報告書のまとめかた
第14回	報告書の作成
第15回	まとめ
第16回	報告書の印刷と提出

到達目標

社会調査の企画・設定、およびデータの集計・分析を全員が体験し、報告書の作成にまとめる基礎的なスキルを身につける。

履修上の注意

- ・本講義は、社会調査士の取得に関する科目です。
- ・グループで作業を行うことが多いため欠席や遅刻はメンバーに多大な迷惑をかける。十分注意すること。
- ・受講態度の悪い学生（実習に参加しない学生）には、退出を求めます。
- ・統計に関する講義を履修していることが望ましい（統計学、社会調査論、心理学実験実習など）。
- ・各回の課題を確実にまとめておくこと。
- ・調査票の作成、調査の実施、レポート作成時など講義外での作業が求められます。

予習復習

- ・授業外学習として、各回の課題を確実に実施していくことが求められます。
- ・春期での統計処理は、単純集計、クロス集計（ χ^2 検定）を中心に実施するので、事前学習が望まれる。

評価方法

授業中の平常点（意欲、関心、授業態度 20%）と、提出課題の内容（80%）によって評価する。

テキスト

テキスト：篠原清夫（他）編（2010）、社会調査の基礎 弘文堂
 参考書：米川和夫（他）著（2010）、SPSS 統計解析マニュアル 北大路書房